

2022年7月27日

報道機関 各位

東 北 大 学

**異能アントレプレナーシップ人材育成プログラムが  
三菱みらい育成財団の助成事業に採択  
高大連携の新たな起業家人材教育の促進へ**

【概要】

東北大学は、高校生から大学1、2年生の若年層へのアントレプレナーシップ教育をより充実させるべく、本年より「～未来を大胆に切り開く三綱領～未来創造・価値工房・異能発掘 アントレ人材育成プログラム」を開始致します。

本プログラムは、一般社団法人三菱みらい育成財団の、未来に向かう子供・若者を応援し、それを通じて社会の未来を育むことに貢献することを目的とした助成事業、「先端・異能発掘・育成プログラム」(カテゴリー3)に採択されました。

東北大学では、起業家人材育成・支援事業に精力的に取り組んでおり、文部科学省の次世代アントレプレナー人材育成事業(EDGE-NEXT)やJSTのSCORE事業\*1、START事業\*2などの事業を通じてアントレプレナーシップ教育並びに東北地域全体のスタートアップ・エコシステム形成を推進してきました。

この度、これまで実施してきたアントレプレナーシップ教育の中でも、特に高校生から大学1、2年生の初等教育をより充実させるべく、キャリアデザイン教育、プロトタイプ教育、社会実践教育の3つをパッケージにした「～未来を大胆に切り開く三綱領～未来創造・価値工房・異能発掘 アントレ人材育成プログラム」を実施することとなりました。

本学では、小学生、中学生、高校生を対象に“ものづくり”や“科学実験”などの体験型科学教室\*3や13年間にわたり科学分野の高大連携教育「科学者の卵」に取り組んでおり分野横断的な発想力と試行錯誤の中で探求する「科学の眼」を持つ傑出した科学者の卵たち(高校生)を育成してきました。

本プログラムは、これらと連携することで、科学者の素養を身に着けた高校生に対してアントレプレナーシップを醸成するとともに、その他にも夢をもって大学に進学した大学1、2年生に対し、自分を想像し、モノを創造し、社会に挑戦する実践的教育を実施します。これにより、激変する世界情勢の中で日本社会を再生されるようなイノベーションを起こす人材を育成する高大連携の新たな起業家人材育成を促進して

いきます。

\*1:SCORE 事業; JST 社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型(拠点都市環境整備型)

\*2:START 事業; JST 大学発新産業創出プログラム(START)大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援

\*3:体験型科学教室; 略称:東北大学サイエンスキャンパス

**【問い合わせ先】**

東北大学

担当 工学研究科 工学研究科国際ナショナルオフィス 松下・森谷  
教育・学生支援部キャリア支援事務室 酒井・尾形

電話 022-795-7996

022-795-7768

E-mail [mirai-eng@grp.tohoku.ac.jp](mailto:mirai-eng@grp.tohoku.ac.jp)

## 【詳細な説明】

### ◆プログラムの概要

本教育プログラムでは、「未来構想 Lab」、「価値創造工房」、「異能アントレ・チャレンジ」の 3 つの枠組み(三綱領)を新設し融合することで、10 年後のあるべき未来を大胆に描き、切り開くことのできる異能アントレ人材育成教育を実施します。自分・モノ・社会の未来を構想する力と、行動によりアイデアをカタチにするマインドを持ち、社会への貢献やグローバルな視野で世界を変えることの重要性を五感で知る異能人材の育成を目指します。

#### ① 「未来構想 Lab」:

Future Design 思考を駆使して、まだ存在しない自分自身のキャリアを大胆に想像し構想する想像力を養います。大学でのキャンパスライフや就職、さらにはその先の人生を、専攻や学科に捕らわれない広い視座からデザインします。

#### ② 「価値創造工房」:

誰もがクリエイティブな人材になれるよう、versatile Design 思考をベースとしてアイデアを着想し、それをカタチにし、ブラッシュアップしていく創造力を養います。周囲にある不便・不満からアイデアを着想し、それをカタチにする体系的なプロトタイプ教育を行います。

#### ③ 「異能アントレ・チャレンジ」:

学内・市・海外の様々な機関と連携した実践・修行の場において、ここまで身に着けた想像力と創造力を駆使して、実社会の課題に挑む意志力と挑戦力を高める修行を行います。

### ◆プログラムの大きな特色:連携強化

海外機関、大学、仙台市との 3 つの連携強化による多彩な実践の場を提供します。

#### ① 【海外連携】

本学におけるアントレプレナーシップ教育(EDGE-NEXT 事業)の 5 年間の大きな成果として、米国シリコンバレーのアントレ教育を牽引するカリフォルニア大学バークレー校やスタンフォード大学、世界最先端のデジタル社会を牽引するエストニアのタリン工科大学など、様々な海外機関とのアントレプレナーシップ教育連携を図って実績を積んできました。本プログラムでも、これら機関と連携し、ワークショップ等の短期的な教育コンテンツに加え、異能アントレ・チャレンジでの海外での実践の場として活用し、学生のグローバルな視点で世界を変える重要性を五感で知る機会を提供します。

#### ② 【学内連携】

本学には様々な試作が行える施設として創造工学センターが設置され、3D プリンター等を学生らが自由に試作を行える場が整っています。加えて、2021 年度の SCORE 事業(JST 社会還元加速プログラム大学推進型)において設置したプロト

タイピングセンターではより高度な試作製造も可能となり、これらと連携することにより、様々なレベルのプロトタイピングが行える環境を学生らに提供します。アイデアを着想し、それをカタチにする体系的なプロトタイプ教育を行う場を提供します。本学のもつ国際共修ゼミやグローバルラーニングセンター、学問論等の枠組みを活用することで、学部・国籍を横断した受講者層に対してプログラムを提供し学内連携を一層強化します。

③【地域連携】

仙台市とも連携することにより、市が行う起業推進事業や地域課題解決プログラムを実践の場として提供することや、市内の中学・高校へのプログラム展開を図り地域連携強化を図ります。



図1 東北大学が実施する異能アントレプレナー人材育成プログラムの概要

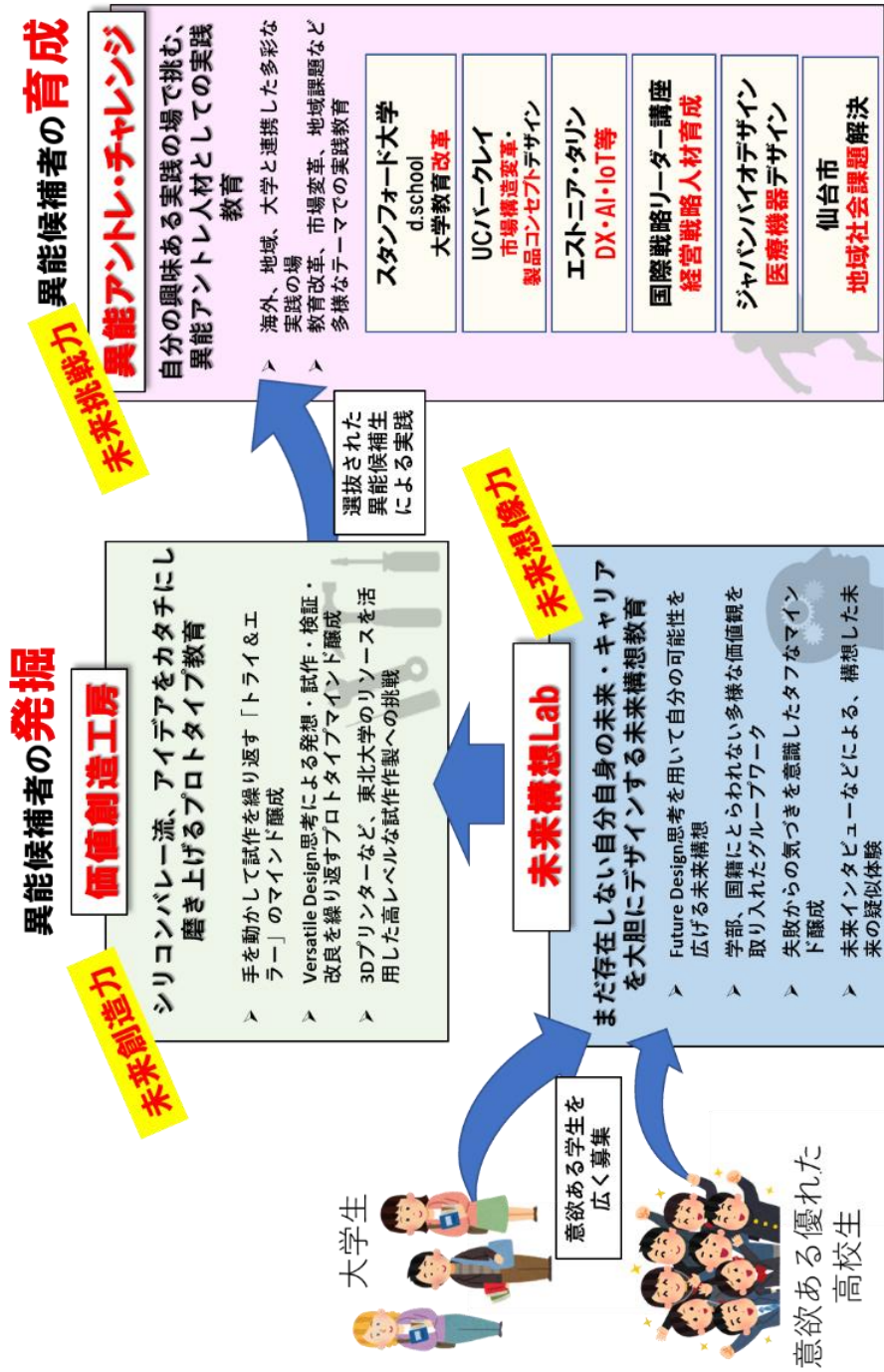


図2 プログラムで実施する具体的な取組内容